

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成27年12月25日

協議会名:三条市地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
越後交通株式会社	福沢線 (福沢～長沢駅跡)	沿線地域住民のニーズを把握するためのアンケート調査の実施内容について、検討を行った。また、三条市内の高等学校に通学する見込みの下田中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知を図った(H27.3)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数5人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は2.4人であり、目標を下回っている。 生徒数減少に伴う利用者数減少と思われるが、自家用車送迎による減少も考えられる。	利用促進に向け、下田中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知等を行う。また、沿線地域住民のニーズを把握するためのアンケート調査を実施し、結果の分析を行う。
	高校生通学ライナーバス (東三条駅～県央工業高等学校)	利用促進に向けて市広報紙による啓発を実施した(H27.8)。また、三条市内の高等学校に通学する見込みの下田、大崎中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知を図った(H27.3)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数35人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は20.7人であり、目標を下回っている。 生徒数減少に伴う利用者数減少と思われるが、自家用車送迎による減少も考えられる。	利用促進に向け、下田、大崎中学校卒業生に対し、利用時間、方法などを記載したチラシを配布し、周知等を行う。
	市内循環バス南コース (市内)	沿線住民アンケートを実施(H26.12)し、循環バスに対する意識調査を行った。また、市広報紙を通じてコースの周知を図り、利用促進に努めた(H27.8)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数100人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は76.9人であり、目標を下回っているものの、平成26年度よりも利用者が増加している(10人程度増)。	引き続き、利用の促進を図るとともに、他のルートも含めた中で抜本的な見直しに向けた中期的計画を検討する。
	市内循環バス北コース (市内)		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
	市内循環バス嵐南コース (市内)		A 計画どおり事業は適切に実施された。		
市内循環バス嵐北コース (市内)	A 計画どおり事業は適切に実施された。				
株式会社エス・タクシー	三条市デマンド交通 (三条市内)	利用者アンケートを実施(H26.12)し、料金値上げ後の利用者の動向を調査した(利用をやめた方への追跡調査は、その方を特定することが困難なため未実施)。また、利用促進に向けて市広報紙による啓発を実施した(H27.8)。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標に掲げた日平均利用者数400人に対し、平成26年10月～平成27年9月までの実績は313.2人であり、目標を下回っている。 平成26年1月の利用料金見直し(値上げ)以降、見直し前に比較して日平均利用者数が約25%減少しており、平成26年12月に実施した利用者アンケートによれば、「値上げにより利用回数が減った」と回答した方が全体の約20%となっていることから、値上げによる負担増が影響していると考えられる。また、利用が減った代替の移動手段として、「徒歩又は自転車」となっており、市街地内(近距離帯)の利用者減につながっていると思われる。	複数乗車率向上・利用促進に向けた、新たな取組(三条市デマンド交通 おでかけパス)を実施する。また、利用者アンケートを実施し、結果の分析を行い、利用促進への検討を行う。
三条タクシー株式会社			A 計画どおり事業は適切に実施された。		
中越交通株式会社			A 計画どおり事業は適切に実施された。		
日の丸観光タクシー株式会社			A 計画どおり事業は適切に実施された。		